

OPERA
PALACE

Tokyo
オペラパレス

オペラパレスへようこそ

2010/2011 SEASON OPERA

《新制作》

ジャコモ・プッチーニ

Giacomo Puccini

2011年 **3/15**[火]6:30 **18**[金]2:00 **21**[月・祝]2:00 **24**[木]2:00 **27**[日]2:00 **30**[水]6:30

【全4幕／イタリア語上演／字幕付】

マン・レスコー

Manon Lescaut



新国立劇場

NEW
NATIONAL
THEATRE
TOKYO

オペラパレス — OPERA PALACE

2010 / 2011 シーズン・特別支援企業グループ

◆ 住友化学 人 TBS TOYOTA ぴあ

ボックスオフィス

03-5352-9999

<http://www.nntt.jac.go.jp/opera/>

指揮: **リッカルド・フリッツァ**
 Conductor: Riccardo Frizza
 演出: **ジルベール・デフロ**
 Production: Gilbert Deflo
 装置・衣裳: **ウィリアム・オルランディ**
 Set & Costume Design: William Orlandi
 照明: **ロベルト・ヴェントゥーリ**
 Lighting Design: Roberto Venturi
 指揮補: **ジュゼッペ・フィンツィ**
 Associate Conductor: Giuseppe Finzi
 舞台監督: **村田 健輔**
 Stage Manager: Murata Kensuke

マノン・レスコー: **スヴェトラ・ヴァッシレヴァ**
 Manon Lescaut: Svetla Vassileva
 デ・グリユー: **グスターヴォ・ポルタ**
 Des Grieux: Gustavo Porta
 レスコ: **ダリボール・イエニス**
 Lescaut: Dalibor Jenis
 ジェロント: **妻屋 秀和**
 Geronte: Tsumaya Hidekazu
 エドモンド: **望月 哲也**
 Edmondo: Mochizuki Tetsuya
 旅館屋の主人: **大澤 建**
 L'oste: Osawa Ken
 舞踏教師: **羽山 晃生**
 Il maestro di ballo: Hayama Kosci
 音楽家: **池田 香織**
 Un musico: Ikeda Kaori
 軍曹: **大塚 博章**
 Sergente degli arcieri: Otsuka Hiroaki
 点灯夫: **松浦 健**
 Un lampionaio: Matsuura Ken
 海軍司令官: **森口 賢二**
 Un comandante di marina: Moriguchi Kenji

狂おしいまでに愛された美少女マノンの物語。プッチーニの出世作。

アベ・プレヴォーの人気小説に基づいたプッチーニ3作目のオペラ。本作品の大成功によりプッチーニは一躍イタリアオペラ界の寵児となりました。むせ返るような情熱的、官能的な音楽が繰り広げ、自由奔放な美少女マノンと彼女に純愛を捧げる騎士デ・グリユーの転落の物語。中でもデ・グリユーの「ご覧ください、僕は狂っています」、マノンの「ひとり寂しく、捨てられて、」等のアリアは心を揺さぶる名曲です。マノン役を歌うのは、美しい容姿と確かな歌唱を誇るブルガリアの名花ヴァッシレヴァです。



プッチーニらしさに満ちた美しい名作を新制作で

ヴェルディ、プッチーニらイタリアオペラの巨匠による並み居る傑作の中から、今シーズンは「マノン・レスコー」を新制作で上演します。全編に迸る流麗で甘美な旋律、劇的そして時に大胆な管弦楽—若きプッチーニの天才が余すところなく発揮されている、いとも魅力的な作品です。新国立劇場では99年以來上演されておらず、ぜひ私の第1シーズンで取り上げたいと思いました。指揮のリッカルド・フリッツァは、これまで新国立劇場ではヴェルディを何作か指揮していますが、今回初めてプッチーニ作品をお願いしました。プッチーニの情熱的な音楽世界を華麗に描き出してくれることと期待しています。今回の舞台は、2004年にベルリン・ドイツ・オペラで初演され、その後ヨーロッパ各地で上演され続けているジルベール・デフロ演出のプロダクションです。皆様には、完成度の高い舞台を満喫していただけたらと思います。歌手陣には、特にプッチーニを得意とし、世界中で活躍するヴァッシレヴァ、ポルタらを迎えました。マノンとデ・グリユーの激情の愛の物語を、美しくドラマティックに歌い上げることでしょう。

新国立劇場オペラ芸術監督 尾高忠明

合唱指揮: **三澤 洋史**
 Chorus Master: Misawa Hirofumi
 合唱: **新国立劇場合唱団**
 Chorus: New National Theatre Chorus
 管弦楽: **東京交響楽団**
 Orchestra: Tokyo Symphony Orchestra

芸術監督: **尾高 忠明**
 Artistic Director: Otaka Tadaaki

やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



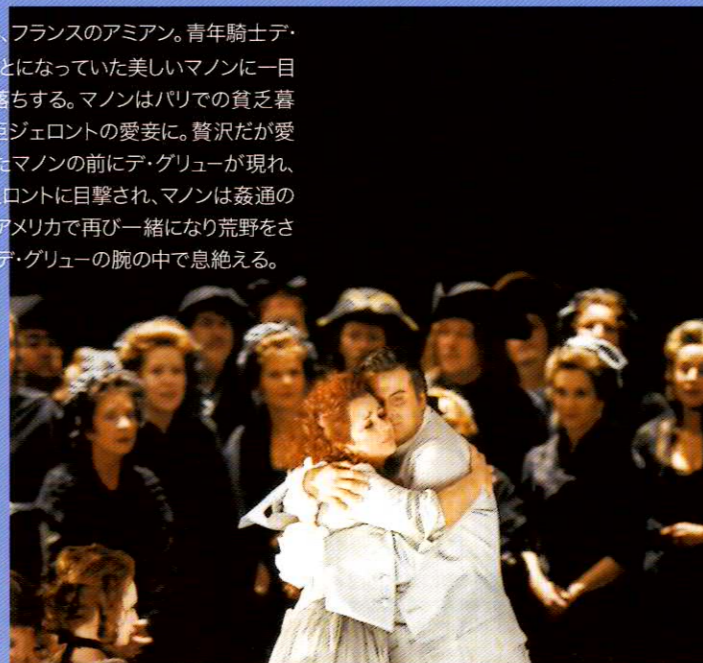
もしかしたら・・・新国立劇場合唱指揮者 三澤 洋史

男はみんなファム・ファタール femme fatale (男を破滅させる女) を求めている。牙を抜かれ安定した日常生活を営む男達は、実は心の奥底で運命的な女性との出遭いを密かに待ち望んでいる。その圧倒的な美しさに我を忘れ、彼女と過ごすような陶酔の中で、まるで積み木崩しのようにこれまで地道に築いてきた人生をメチャメチャに破壊してしまいたいという愚かで危険な破滅願望を持っている。もしかしたら今日の帰り道、街角であるいは駅のホームで何気なく出遭うかも知れないファム・ファタール。いいなあ、どこかにいないかなあ、そんな女性・・・あなたも思っているでしょう。そんなあなたのためにとっておきのオペラがあるので。デ・グリユーはアミアンの広場でマノン・レスコーという女性に出遭う。その瞬間、彼の人生の歯車は反対方向に回り出す。マノンはその時修道院に入ろうとしていたが、デ・グリユーは彼女を必死で口説き落とし、二人は現実の世界から逃避行する。ところが今度はデ・グリユーが新しい現実生活を築こうとしても、彼女は堅実な人生を決して生きられない女であった。マノンの輝く美しさは彼女の非日常性から来ていたのだ。デ・グリユーは、どんなに苦しめられても彼女から離れられない。彼女はお金のために他の男と平気で寝ても、それでもデ・グリユーのことは変わらず愛しているからだ。いっそのこと捨ててくれたらあきらめられるものを・・・マノンの優柔不断さは男を内面からズタズタにする。本当に、なんて女だ！

終幕、デ・グリユーに支えられながらボロボロになって荒野を歩き、ついに力尽きるマノン。でも彼女は最後に言う。
 あなたを本当に愛しているわ
 あたしの犯した過ちを忘却が押し流してしまっても
 あたしの愛は消えないわ
 これは男冥利に尽きる言葉だ。この言葉を得たいがためにデ・グリユーはマノンと共にこんな世の果てにまで来てしまった。愚かな男は究極まで愚かになり、墮落の末に“負の勝利”を得るのだ。同時に、デ・グリユーに思い入れを持つ聴衆は、ここでカタルシスを得るのだ。この破天荒な物語を彩るのは、プッチーニの熱に浮かされたような音楽。プッチーニの全作品中、最もワーグナーの影響を受けたといわれるが、心を奪われる甘美な旋律は紛れもなくプッチーニの世界。でもワーグナーからは熱狂性と、そして危険性を受け継いでいる。この音楽に触れて冷静なままでいられる人はいない。どうです？こんなオペラを観てみませんか？もしかしたら、そこにあなたのファム・ファタールが……。

【あらすじ】 18世紀後半、フランスのアミアン。青年騎士デ・グリユーは、修道院に入ることになっていた美しいマノンに一目惚れし、二人でパリに駆け落ちする。マノンはパリでの貧乏暮らしに飽き足らず、大蔵大臣ジェロントの愛妾に。贅沢だが愛のない生活に空しさを覚えたマノンの前にデ・グリユーが現れ、愛を確かめ合う。そこをジェロントに目撃され、マノンは姦通の罪で流罪に。二人は流刑地アメリカで再び一緒に荒野をさまようが、衰弱したマノンはデ・グリユーの腕の中で息絶える。

本公演は、ベルリン・ドイツ・オペラの協力により上演されます。
 (舞台装置・衣裳・小道具制作:ベルリン・ドイツ・オペラ/フィンランド国立劇場)



主要キャスト・スタッフ プロフィール

指揮:リッカルド・フリッツァ
 イタリア・ブレンシア生まれ。これまでに、メトロポリタン歌劇場、ワシントン・オペラ、ザクセン州立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、モネ劇場、ローマ歌劇場、フィレンツェ歌劇場、ロッシニ・オペラ・フェスティバルなどでイタリアオペラを中心に活躍。新国立劇場では05年「マクベス」、08年開場10周年記念特別公演「アイダ」、09年「オテロ」を指揮し、絶賛を博した。
演出:ジルベール・デフロ
 ベルギーのフランドル地方生まれ。フランクフルトでの「3つのオレンジへの恋」演出を皮切りに、これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ミラノ・スカラ座、チューリッヒ歌劇場、ヴェローナ野外劇場など世界の歌劇場で150作品ものオペラ演出を手掛けている。09年はパリ・オペラ座で「仮面舞踏会」、バセリナのリセウ歌劇場で「イル・トロヴァトーレ」などを演出。新国立劇場初登場。
マノン・レスコー:スヴェトラ・ヴァッシレヴァ
 ブルガリア生まれ。これまでにウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤルオペラ、フィレンツェ歌劇場、ローマ歌劇場などに出演。レパートリーには「蝶々夫人」タイトルロール、「ラ・ボエーム」ミミ、「トゥーランドット」リュウ、「マノン・レスコー」タイトルロール、「精姫」ヴィオレッタなどがあり、特にプッチーニ作品を得意とする。新国立劇場初登場。
デ・グリユー:グスターヴォ・ポルタ
 アルゼンチン・コルドバ生まれ。96年にブエノスアイレスのコロン劇場でデビュー。これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ライプツィヒ・オペラ、フランクフルト・オペラ、パレルモ・マッシモ歌劇場、レアル劇場などで、「トスカ」カヴァラドッシ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」トゥリッドゥ、「アイダ」ラダメスなどに出演している。新国立劇場初登場。
レスコー:ダリボール・イエニス
 スロヴァキア生まれ。これまでにウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、ザクセン州立歌劇場、パリ・オペラ座、英国ロイヤルオペラ、ボローニャ歌劇場、リセウ歌劇場などに出演。「セビリアの理髪師」フィガロ、「精姫」ジェルモン、「ドン・カルロ」ロドリゴ、「仮面舞踏会」レナート、「マノン・レスコー」レスコーなどを歌っている。新国立劇場初登場。

新国立劇場 2010/2011シーズンオペラ・ラインアップ

<p>2010年10月全6公演 2/5/8/11/14/17日 (新制作) R.シュトラウス【全3幕】</p> <p>アラベッサ</p> <p>古き良きウィーンの薫り漂う、運命の人の愛を夢見る美人姉妹の恋物語。</p>	<p>10月全4公演 10/13/16/19日</p> <p>モーツァルト【全4幕】</p> <p>フィガロの結婚</p> <p>花嫁の「初夜」が伯爵に奪われる!? 天才モーツァルト不朽の名作!</p>	<p>11月全5公演 12/15/18/21/24日</p> <p>ジョルダーン【全4幕】</p> <p>アンドレア・シュニエ</p> <p>断頭台の露と消えた詩人シュニエと伯爵令嬢マッダレーナの恋。</p>	<p>12月/2011年1月全5公演 25/28/4/7/10日 (新制作)</p> <p>ワグナー【全3幕】</p> <p>トリスタンとイゾルデ</p> <p>ワグナー至高の愛と官能の名作、待望の新国立劇場初上演!</p>	<p>2月全3公演 4/5/6日</p> <p>團伊玖磨【全1幕】</p> <p>夕鶴</p> <p>つうの哀しみが胸深く染み渡る…国民的人気を誇る日本オペラの代表作。</p>	<p>2月全5公演 14/17/20/23/26日</p> <p>ヴェルディ【全3幕】</p> <p>椿姫</p> <p>社交界の華と純朴な青年の儚い純愛。純愛オペラの決定版!</p>	<p>3月全6公演 15/18/21/24/27/30日 (新制作)</p> <p>プッチーニ【全4幕】</p> <p>マノン・レスコー</p> <p>狂おしいまでに愛された美少女マノンの物語。プッチーニの出世作。</p>	<p>4月全6公演 7/10/13/16/19/22日</p> <p>R.シュトラウス【全3幕】</p> <p>ばらの騎士</p> <p>豪華絢爛なウィーンの煌めき、オペラの醍醐味これに集まる!</p>	<p>5/6月全5公演 29/2/5/8/11日 (新制作)</p> <p>モーツァルト【全2幕】</p> <p>コジ・ファン・トゥッテ</p> <p>貴方の恋人は誠実? モーツァルトによる恋愛コメディを新制作で。</p>	<p>6月全5公演 6/9/12/15/18日</p> <p>プッチーニ【全2幕】</p> <p>蝶々夫人</p> <p>愛を信じ、愛ゆえに死を選んだ蝶々さんの悲劇。涙を誘う感動作。</p>
--	--	---	---	---	---	--	--	--	--

ラ・バヤデール <牧阿佐美版・全3幕>

La Bayadère

2011年1/15(土)~23(日) オペラバレス

世界でも、こんな豪華な舞台は新国立劇場だけ!
オリエンタルな雰囲気あふれるクラシック・バレエ

▶ 好評発売中
S席 10,500円~D席 3,150円 (税込)

新国立劇場バレエ公演のご案内

NATIONAL BALLET OF JAPAN
New National Theatre, Tokyo

ピントレー監督が贈る
ダイナミックダンス!
<新制作>

Bintley's Choice

2011年3/19(土)~27(日) 中劇場

バラシンの「コンチェルト・パロッド」
ピントレーの「テイク・ファイヴ」
サーフの「イン・ジ・アッパー・ルーム」
大喝采間違いないの中劇場公演!
アメリカの楽しさ溢れる傑作3本立て

▶ 前売開始: 11/7(日)
S席 10,500円~D席 3,150円 (税込)

前売開始
2010年11月6日(土)10:00~
Booking Opens from Sat. 6th Nov. 2010 10:00am

ボックスオフィス **03-5352-9999**

Webボックスオフィス(PC、携帯共通)
http://pia.jp/nntt/
携帯版ボックスオフィスはこちらから→

■チケット取り扱い
(D席のお取り扱いにはボックスオフィスとチケットびのみです。)

チケットびのみ 0570-02-9999 (Pコード 347-385)
インターネット予約 http://pia.jp/t (PC&携帯)

イープラス http://eplus.jp/ (PC&携帯)

チケットWeb松竹
http://www.l.ticket-web-shochiku.com/p/ (PC)

CNプレイガイド 0570-08-9990
http://www.cnplayguide.com/ (PC&携帯)

ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード 31707)
http://1-tike.com/ (PC&携帯)

東京文化会館TS 03-5685-0650
http://www.t-bunka.jp/ (PC)

JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行・トップツアーほか

■座席と料金(税込) オペラバレス 1,792席

上質のオペラを納得のプライスで。

- S席 23,100円
- A席 18,900円
- B席 12,600円
- C席 7,350円
- D席 4,200円
- Z席 1,500円(※2)

※1 発売初日に限り、D席のお申し込みは1人合計2枚まで。
※2 Z席42席は、公演初日に先がけて全日程各20枚を新国立劇場Webボックスオフィス(PC&携帯)にて抽選販売いたします。抽選販売の残席と22席を公演当日ボックスオフィスにて一般発売。いずれも1人1枚、電話予約不可。

「マノン・レスコー」Z席Web抽選販売のスケジュールは以下の通りです。
Z席 Web抽選受付期間 2011/3/13(日) 11:00~3/14(月) 11:00
Z席 Web抽選結果発表 2011/3/14(月) 18:00頃

託児室 <キッズルーム> 『ドレミ』 各公演一般発売日より受付開始。来場予定日の1週間前までに下記まで電話予約。定員制。■利用料金: 0~1歳 2,000円 / 2~12歳 1,000円 ■ご予約・お問合せ: 榛小学園集英社プロダクション HAS総合保育事業部 0120-500-315 (上日祝を除く午前10時~午後5時)

■公演日程<マノン・レスコー> 託児室利用可能日

2011年 Mar	3/15 [火]	3/18 [金]	3/21 [月・祝]	3/24 [木]	3/27 [日]	3/30 [水]
開演時間	6:30	2:00	2:00	2:00	2:00	6:30

● 予定上演時間: 約2時間40分(休憩含む)
● 開場は開演の45分前 ● 開演後は入場制限をいたします。

■割引等のご案内
□ 高齢者(65歳以上)、学生、障害者、ジュニア割引がございます。ボックスオフィスにてお申し込みの際に、割引ご利用の旨お知らせください。(高齢者、学生割引はチケットびのみ一部店舗でもご利用いただけます。他のプレイガイドでは受付できません。それぞれ年齢を確認できるもの・学生証・障害者手帳が必要になります。)
□ 開演後、S席に残席がある場合、割引価格にて、1回目の休憩後より観劇いただけます。
□ 当日学生割引(50%割引/D席・Z席を除く): 公演当日のみボックスオフィスとチケットびのみ一部店舗で販売。1人1枚。電話予約不可。要学生証。
□ 車椅子をご利用のお客さまはボックスオフィスまでお問い合わせください。

■備考
□ 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。お子様も1人1枚チケットをお求めください。
□ 壁際、手摺の近く、バルコニー、上層階の一部のお座席で、舞台・字幕が見えにくい場合がございます。ご了承ください。
□ 公演日、座席によっては、お求められないことがあります。
公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。

■グループでのお申し込み 10名以上でご観劇の場合は新国立劇場営業部(TEL 03-5352-5745)までお問い合わせください。

交通のご案内

- 京王新線(都営新宿線乗入) 新宿駅より1駅、初台駅中央口直結。
KEIO NEW LINE, HATSUDAI STATION (京王線は止まります。)
- 山手通り、甲州街道交差点。首都高速4号線新宿出口・初台出口すぐ。
劇場地下に駐車場があります。ご観劇の際は、駐車料金を割引いたします。
(詳しくは当日、劇場受付にてお問い合わせください。)

新国立劇場
NEW NATIONAL THEATRE TOKYO

〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1 TEL. 03-5351-3011
NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO 1-1-1 HON-MACHI, SHIBUYA-KU TOKYO JAPAN